

救急・急性期を担う総合病院の誘致に係る要望

- 県におかれましては、仙台医療圏における急性期病床の仙台市への一極集中の是正と、救急・がん・精神医療など政策医療の課題解決を目指し、これまで4病院の移転・再編に多大なご尽力をいただいていたことに、富谷・黒川地域の住民を代表して心から敬意と感謝を申し上げます。
- 特に、富谷市にとって救急、急性期を担う総合病院の立地は、市民の生命・健康を守る上で長年かつ喫緊の課題であるとともに、このことは富谷市にとどまらず黒川地域全体としての大きな医療課題であり、4市町村長が連携し、東北労災病院の誘致に取り組んできたところである。
- 令和5年2月に富谷移転を前提とした「協議確認書」が締結され、県と労働者健康安全機構の基本合意の締結を期待し、協議状況を見守ってきたが、5月9日の会談において、機構理事長から東北労災病院の移転を断念し、基本合意に向けた協議を終了したい旨の申入れがあり、同日付けで「協議確認書」が解除されるに至ったことは、誠に残念である。
- 富谷・黒川地域にとって救急・急性期を担う総合病院は不可欠であり、今回の事態を受けた対応として、富谷市は、病院開設を希望する医療機関の公募実施を決定したところである。今後、診療科等の医療機能や支援策など公募条件を早急に確定し、できるだけ早く公募開始する予定であり、引き続き、4市町村が連携し、誘致の実現に取り組むこととしている。
- 富谷市の総合病院の公募については、他の地域と比較して医療資源が少ない富谷・黒川地域において、身近で医療を受ける権利を保障しようとするものであり、県におかれましては、政策医療及び地域医療の充実の観点から、引き続き、財政支援を含む特段のご支援をお願いしたい。

令和7年5月12日

富谷市長 若生 裕俊

大和町長 浅野 俊彦

大郷町長 田中 学

大衡村長 小川 ひろみ